

歯科酷書

36歳男性、歯の数5本、2度受診後中断

歯科衛生士 細井泰子(代々木歯科)

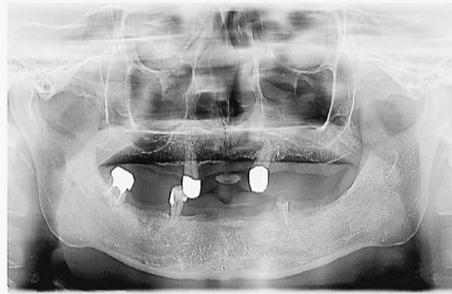
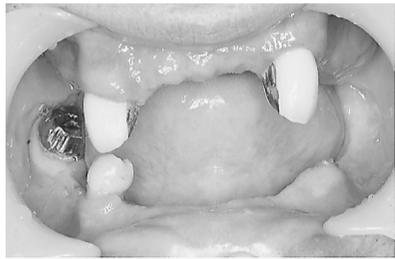
全日本民医連は2009年から「歯科酷書」という口腔の健康格差や、経済的事情により悪化したと思われる症例について多数報告し多方面より反響がありました。

平成26年度の厚生労働省の国民生活調査によると、「生活が苦しい」と答えた人が過去最高の62.4%であったと発表されています。そして、同年の国民健康・栄養調査の結果では、世帯収入が少ない程、健康診断の未受診や歯の本数が少ない事が報告されています。

代々木歯科においても、社会的な理由、健康保険未加入、厳しい労働環境などの様々な要因によって口腔崩壊に至った、口腔の健康格差と思われる事例がありますので、シリーズで紹介していきます。



《症例1》
さて、写真の方は何歳だと思いませんか？
答えは36歳男性です。



主訴は入れ歯のバネを掛けている歯が突然破折し、入れ歯の支えが無くなり入らなくなったという理由で来院されました。



渋谷区・石井和子

た。以前歯が悪くなった時は自分で抜歯したそうです。現在歯数は5本(平均歯数は27.5本)で、約5.5倍の歯の喪失率です。受診時はフリターで約1年前から生活保護受給となりました。2度受診され、入れ歯の修理と破折した歯の治療を行いました。その後本格的な治療に入る前に中断となりました。

歯科疾患実態調査によれば、15〜49歳の虫歯の経験歯数(DMFT)は11.7歯(1987年)から、9.7歯(2011年)に改善し、虫歯が全くない成人も増加しています。しかし、その一方で症例に示したように多数の重度化した虫歯や歯周病に罹患した患者さんも散見されます。

「インフルエンザ」を表示する許可を求めた申請を2010年に却下されています。ヒトでの有効性に十分な根拠がないと評価されたためです。承認から十数年たった製品は、現在の科学水準で効能を見直す必要がありません。

審査のあるトクホでさえ不正が見つかる状況で、届け出だけで販売できる「機能性表示食品」の製品には不安がつのります。再発防止には、不正をおこなった企業に、きびしい課徴金を科して責任を問うことが必要です。

サプリメントに頼らない生活



薬剤師 藤竿伊知郎 (外苑企画商事)

(24) 成分不足のトクホ、初の許可取消処分

9月23日、消費者庁は、日本サプリメントが販売する「ペプチド茶」「豆鼓エキスつぶタイプ」など6商品の特定保健用食品(トクホ)表示許可を取り消しました。表示の100分の1程度しか有効成分が含まれていないことや、判明した後2年以上も報告せずに販売を続けていたためです。1991年にトクホ制度ができて、初の取り

消し処分です。このことから、トクホ制度の問題点が浮かび上がっています。一つは、承認時の審査さえ通過すれば、その後の品質保証は企業任せという事です。消費者庁がトクホ製品の1部を買い取り調査する制度は、2017年度から始める予定でした。会社から申し出がなければ、今回の不正もわかりませんでした。さら



に事件後、トクホ製品1270品目の現状を調べ、270品目の成分調査でさえ、業者が指示して回答を待つ状況です。もう一つは再評価の実施です。承認後4年ごとの再審査は、1997年の規制緩和でなくなりま



「インフルエンザ」は、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。普通の風邪よりも急激に発症し、症状が重いのが特徴です。インフルエンザに感染すると、1〜5日の潜伏期間の後、38℃以上の高熱や筋肉痛などの全身症状が現れます。健康な人であれば、その症状が3〜7日間続いた後、治癒に向かいます。気管支炎や肺炎を併発しやすく、脳炎や心不全になる場合もあります。

インフルエンザの予防法
①ワクチン
今シーズンのワクチンも昨年と同様にA型2種、B型2種で造られた4価ワクチンとなっています。ワクチンによる予防効果

今年もインフルエンザが流行する季節となりました。例年12月から徐々にインフルエンザの流行が始まり、1月〜2月にかけて流行のピークとなることが多いのですが、今年9月から集団感染事例が報告されています。インフルエンザにはA型とB型がありますので1シーズンに2度かかる可能性があります。現時点ではA型インフルエンザの発生数が多いようですので、今シーズンすでにインフルエンザになってしまった方も、B型インフルエンザにならないよう予防する必要があります。

定期的な換気も効果的です。さらに体力が低下していると、インフルエンザウイルスに感染しやすくなります。バランスのとれた食事、十分な睡眠を心がけましょう。

インフルエンザかな?と思ったら
早めに受診するようにしましょう。早めの受診は合併症などの危険から自分の身を守るだけでなく、周りの人にも重要な意味でも重要になります。しっかり予防して冬を乗り切りましょう。

くすりの話あれこれ 118

インフルエンザ ワクチンを早めに接種し予防を

植野 和文 (薬剤師・院内薬局)

②生活での注意点
流行期に「人ごみに出ない」、「人ごみに出るときはマスクを着用する」、「手洗い・うがいをし」、「手洗い・うがいをし」、「室内の湿度を保つ」などが挙げられます。